

## 第2回 第3次千葉市議会運営活性化推進協議会 協議概要

- 1 日 時 令和5年12月12日（火）  
午前10時00分から11時32分まで
- 2 会 場 千葉市役所低層棟6階 第1委員会室
- 3 出席者 （委員）石川弘委員長、麻生紀雄副委員長、  
伊藤隆広委員、前田健一郎委員、中島賢治委員、三須和夫  
委員、田畑直子委員、川合隆史委員、伊藤康平委員、  
森山和博委員、椛澤洋平委員、中村公江委員、  
大平真弘議員（守屋聡委員の代理）  
（オブザーバー）黒澤和泉議員  
（事務局）議会事務局長 他11人
- 4 傍聴者 （報道関係） なし  
（一般傍聴者）1人

### 5 協議事項及び協議結果

#### （1）委員会機能の充実について

##### <協議内容>

各会派から提出された「試行実施項目の検証」と「委員会機能の充実に向けた意見・改善提案等」の調査票に基づき、補足説明等が行われた後、意見交換を行った。

##### <主な意見>

- ・年間調査テーマ設定にあたり議論が必要。委員選任から年間調査テーマ設定までの期間が短いことから、年間調査テーマの協議を行う委員会前にテーマに関する意見募集を行う仕組みづくりを検討することも必要。
- ・第2次千葉市議会運営活性化推進協議会で示されたスケジュールガイドラインは、年間活動計画を作成するうえでの参考資料であり、各委員会が柔軟に活動計画を作成することが大事であり、見直しの必要はない。
- ・案件に応じて年間調査テーマに基づく調査結果等を次年度の委員会へ申し送りをする仕組みや、翌年度の委員会において、前年度のテーマを継続して調査するといった仕組みづくりも必要。
- ・議員間の討議、合意形成は大事である。
- ・1年間の調査の結果をしっかりと報告書にまとめ、残すことが必要。
- ・学識経験者等による講演は知見を深めるために重要であり、講師等の招聘に必要な予算が確保されるのであれば、積極的に取り入れるべき。
- ・県外視察とオンライン視察の併用は有効である。
- ・今回提出した調査票や今日の意見に基づき、今後、協議会で検討を行う事項について正副委員長案の提示を望む。

##### <協議結果>

各会派から提出された調査票や第2回協議会で行われた意見交換に基づ

き、委員会の機能強化に関する検討事項について、次回会議の際、正副委員長案を提示することとされた。

## (2) 議会のデジタル化の推進について

### ①オンライン会議の導入について

#### <協議内容>

前回協議会にてオンライン会議の導入に向けた規定整備を進めることが了承されたことから、委員会条例・会議規則の一部改正案及びオンライン会議に係る要綱案について、事務局から説明を行った。

#### <主な意見>

- ・特になし

#### <協議結果>

委員会条例・会議規則の一部改正案及びオンライン会議に係る要綱案について、会派に持ち帰り修正意見や確認事項を検討のうえ、調査票（千葉県議会委員会条例・会議規則の改正案等に対する意見）を、12月26日（火）迄に事務局へ提出することとされた。

### ②タブレット導入の協議・検討について

#### <協議内容>

タブレットの「基本的な考え方」、「目的」、「活用範囲」及び「活用方法」を検討するためのたたき台案を提示し、意見交換を行った。

#### <主な意見>

- ・完全ペーパーレス化＝タブレット導入ではないと思うので、運用をより具体的に詰めた方がよい。
- ・タブレットを導入するからといって紙を全部なくすというのは乱暴と思う。紙が必要な部分も一定はある。
- ・完全ペーパーレスは必要。必要であれば自分でダウンロードすればよい。
- ・活用範囲は「議会活動に限る」という曖昧な記載だが、議会活動の範囲について議論をしておかないと、個人的に使ってしまうような場面も出てきてしまうのではないか。
- ・サイドボックス、ラインワークス等のシステムの使い方もしっかりと見直す必要がある。機種を選定や運用の課題の抽出、整理をするため、ワーキングチームなどを作ってしっかりと進めていただきたい。
- ・段階的にペーパーレス化する場合、期日はしっかり決めないと、いつまでも紙が併用される懸念がある。
- ・ワーキングチームを作って運用の議論をすることも大事だが、タブレットなどを使えない議員を底上げしていくことも必要。
- ・執行部側と議会側でシステムの違いがある状況をきちんと整理しながら、議会としてのペーパーレスを目指していく必要がある。
- ・ワーキングチームなど、グループを作ることで課題や問題がたくさん出

てくるだろうから、正副委員長に方向性を示してもらう必要がある。グループを作ればいいという話ではないのではないか。

<協議結果>

タブレット導入の目的、活用範囲及び活用方法について概ね了承された。タブレットの詳細な運用、活用について検討するための「ワーキンググループ」を立ち上げることとなった。

### (3) 次回の開催日程について

令和6年1月17日（水）午後1時30分から開催することとした。